



シリーズ198

高めよう！ 人権意識

心のかけ橋

関人権推進課
(☎928-1006)

「できたよ！」「いいね！」から
子どもを伸ばす
「なかよし作品展」を通して

プラスの体験が自己肯定感を高める

皆さんは自分のことが好きですか？
自分のことを好きだと思える「自己肯定感」は、プラスの体験の積み重ねで高まっています。例えば、
○勉強、行事などを最後までやり遂げて「達成感」を得ること
○仲間と一緒に活動して、人と「心の絆」で結ばれること
○自分の努力を周りから認めてもらえ、「共感」や「称賛」を得ることなどが挙げられます。
特に子ども時代には「わかった！」「できた！」という体験がたくさんあるほど自己肯定感が高まり、自信をもって行動できるようになります。

とりわけ障がいがある子どもたちには、自己肯定感を高めるためのきめ細やかな支援や活動が必要です。

自立を見据えた活動 「作品づくりから見学まで」

毎年12月には、市内小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が授業で制作した作品を展示する「なかよし作品展」を開催しています。

絵画や習字作品をはじめ、陶芸や刺しゅう、さをり織り、ちぎり絵など多彩な作品が展示されます。



どの作品も児童生徒の興味や関心があるものを題材にしています。楽しみながら集中力や手先の器用さなどを身につけたり、仲間と共に制作する喜びを味わったりする中で、達成感を得て自信をつけています。

展示期間中に会場の市役所まで見学に行くという体験学習を取り入れる学校もあります。まず、事前にバ

スの路線や時刻・運賃を自分たちで調べ、公共の場でのマナーを学習します。その後、実際にバスに乗って会場を訪れ、他校の児童生徒の作品を見ることで、お互いの努力を認め合ったり、作品の良さを学んだりしています。こうしたプラスの体験の積み重ねが自己肯定感や社会性を高めることにつながっていきます。



皆さんに作品を見てもらうことで児童生徒の自信がさらに深まり、また新たな活動に取り組む意欲も高まります。観覧してください。

◆なかよし作品展◆

時 12月12日(出)〜25日(金) (最終日は午後3時まで)

所 市役所本庁舎1階市民ホール
関指導課 (☎928・1275)

高めあつ 人権感覚 確かな未来